

リサイクルできます、テトラパックの紙パック

テトラパックの紙パックの開き方の一例を紹介します。「開いて、洗って、乾かして」。紙パックをリサイクルして、資源の有効活用にご協力ください。

※ハサミを使う場合は、取り扱いにご注意ください。※飲み残しが服につかないようご注意ください。
※取り外したキャップは、自治体のルールに従って処分してください。

アルミ付き容器各種の開き方

1 キャップは取り外してください。

2 折り込みをはがしてたたんでから、注ぎ口の後ろから押すと、簡単に取り外すことができます。

3 注ぎ口内側奥にある歯が鋭くなっていますので、指を入れるなどしてケガをしないようご注意ください。

4 上下の貼り合わせをはがす
上下の貼り合わせ部分を手ではがします。

5 たいらにたたんで切り込みを入れる
貼り合わせに沿って途中まで切り込みを入れます。

6 ②で入れた切り込みからハサミをパックの内側に入れ、表側の1枚だけをまっすぐ上まで切ります。

7 開く
図のように縦と横の接合部を開きます。(ハサミでも可)

※小型容器でも同様に開けます。 ※ストローが付いている場合は、ストロー、ストロー袋は必ず地域の分別ルールに従ってください。
※キャップを除く容器本体(注ぎ口を含む)で「紙製容器包装」として取り扱われます。
自治体の方針やお客様のお考えでより細かく分別を行う場合は、注ぎ口と紙部分を分け、自治体のルールに従って処分してください。

ボトル型の開き方

1 キャップは取り外してください。

2 底面の折り込みをはがす
底を押し開く
底を上にして安定した場所に立て、図の箇所親指を当てます。

3 そのまま強く押し込む

4 側面を開く
縦の接合部を開きます。(ハサミでも可)

5 開く
プラスチックと紙の接合部を開きます。(ハサミでも可)

※キャップを除く容器本体(注ぎ口を含む)で「紙パック」として取り扱われます。
自治体の方針やお客様のお考えでより細かく分別を行う場合は、注ぎ口と紙部分を分け、自治体のルールに従って処分してください。

天面が斜めのタイプの開き方

1 キャップは取り外してください。

2 上下の折り込みをはがす
底を押し開く
底を上にして安定した場所に立て、図の箇所親指を当てます。

3 そのまま強く押し込む

4 開く
図のように縦と横の接合部を開きます。(ハサミでも可)

※キャップを除く容器本体(注ぎ口を含む)で「紙パック」または「紙製容器包装」として取り扱われます。
自治体の方針やお客様のお考えでより細かく分別を行う場合は、注ぎ口と紙部分を分け、自治体のルールに従って処分してください。

屋根型の開き方

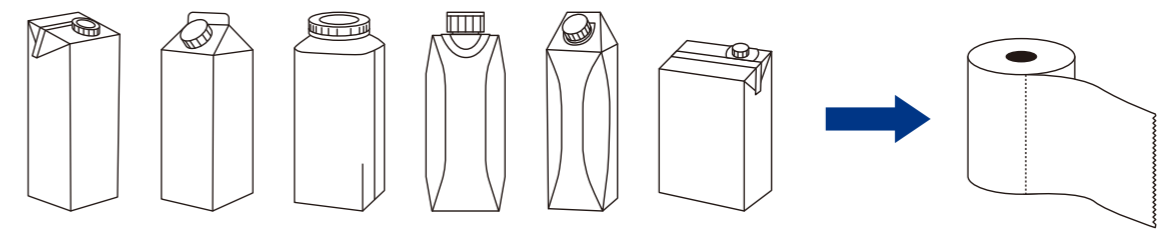
1 キャップは取り外してください。

2 上部を開く
貼り合わせに沿って手で開くか、ハサミで切る

3 開く
図のように縦と横の接合部を開きます。(ハサミでも可)

※キャップを除く容器本体(注ぎ口を含む)で「紙パック」として取り扱われます。
自治体の方針やお客様のお考えでより細かく分別を行う場合は、注ぎ口と紙部分を分け、自治体のルールに従って処分してください。

1000mlの紙パック6本でトイレットペーパーが1ロール作れます



●トイレットペーパー(65m巻)1ロールの重さは約133.4gです。(日本工業規格「JIS P4501トイレットペーパー」)
●1000ml用の紙パックの重さは1本約30g。製造工程歩留まりを75%とした場合、およそ6本でトイレットペーパー1ロール相当分の紙繊維(約135g)が得られます。